



地域包括

かこがわ便利



様々な研修会に参加！開催！いたしました

播磨薬剤師会 地域医療研修会

7月2日、ウェルネージかこがわに於いて、80名の薬剤師の方を対象に「新オレンジプランと地域包括支援センターの役割、薬剤師との連携」のタイトルで出前講座をさせて頂きました。



今後超高齢社会を迎えるにあたり、医療と介護の連携が間違いなくポイントとなってきます。今回センターの役割を少しでも周知させて頂く機会を持たせて頂いた事に感謝し、誰もが住み慣れた地域で、その人らしい暮らしが送れるよう、あらためて薬剤師の方々と連携していく事の重要性を実感いたしました。地域のフィールドのなかで有機的なコラボレーションを行ってきたいと思っております。



多職種連携研修会



7月15日、総合福祉会館で『高齢社会と終末期医療問題』と題しまして、中野歯科医院の中野院長をお招きし、第7回多職種連携研修会を開催しました。在宅生活を送るうえで多職種の連携が必須となりますが、40名の様々な専門職のご参加を頂き、特に今回は薬剤師の方の初参加もあり、幅広い輪が広がつつある事を嬉しく思っております。

1時間以上にも及ぶグループワークにも「時間が足りない」とのご意見も頂戴し、テーマの検討もさることながら、顔の見える関係作りができたのではないかと自負しております。

次回は3月頃「脳卒中について」(仮)を予定しております。是非皆さまご参加よろしくお願い致します。

いきいき百歳体操応援隊講座に参加しました！

今回地域で体操教室のサポートをしていただくボランティアさんを育成する講座が5回コースでウェルネージかこがわにて開催され、介護予防事業に取り組んでいるセンターも参加させて頂きました。

通称「いき百」と呼ばれているこの体操は筋力アップに効果があると言



われ、全国に普及しつつある体操です。また地域で行うことで交流の場ができ、地域づくりにつながったと喜びの報告も聞かれています。会場の用意、椅子の準備、自治会の協力等様々な課題もあがっていましたが、既に活動されている先輩から実践的なアドバイスもあり、前向きにとらえている様子が伺えました。応援隊の方が継続して活動できるよう今後も啓発に努めたいと思います。

「ひおかふれあいクラブ」様 ご紹介



こちらのクラブは、ボランティアの仲間が集まり平成 11 年に立ち上げされた団体です。地域の方に集いの場を提供し、「少しでも楽しんでもらいたい」という思いから、毎月第 4 月曜日の午前中、氷丘公民館に於いて、レクリエーションや茶話会、健康相談等を開催し、年に 2 回程度バス旅行も企画されています。参加費 200 円での運営はご苦労もあるかと思いましたが、代表の吉田様は、「**贅沢な事はできないけど、参加して良かったと思って頂けたら嬉しいです。**」と笑顔でお応え

頂きました。地域のために仲間と協力しながら活動しているスタッフの姿勢にはいつもお力を頂くかぎりです。

今回は、10 月から開始になる「マイナンバー制度」についての情報をご案内させて頂きましたが、センターとしても皆さまにホットな話題をお届けしながら地域とのつながりを持ち続けていきたいと思っております。

高齢者虐待出前講座

8 月 26 日、「地域密着型介護老人施設らいふあかり」の職員 20 名を対象に、高齢者虐待出前講座を行いました。近年、虐待事案の相談件数は年々増加しており、第一発見者の多くは介護関係者であることが多いです。また介護を受けるご本人は勿論のこと、そのご家族と最も多く接するの介護スタッフです。虐待防止の理解と、気づきの視点等を講座の中でお伝えしました。「**介護の最前線にいることを自覚し、介護負担を軽減して虐待に至らぬように、頑張っていきたい**」と、心強い感想を頂きました。



認知症サポーター養成講座 活動報告



・7月8日、グループホーム ニッケととて加古川



グループホームの職員研修の一環として開催し、地域の民生委員様にも声掛けされ、総勢 64 名が参加されました。改めて、認知症の基本知識をおさらいし、寸劇で「**食事をしていないと言い張る認知症の人への対応について**」披露し、どう接すれば良いのかグループディスカッションして頂きました。日頃から色々な方と接しておられるだけあって、ご自身の体験も交えながら、認知症ケアへの考えを熱く話し合われていました。

・9月17日、企業同和協議会



企業同和協議会加古川西ブロックより依頼を頂き、勉強会の一環で認知症サポーター養成講座を開催しました。様々な企業の第一線で働く 50~60 代の方、約 15 名が参加して下さいました。これまで認知症の人と接することとは無縁だった方が殆どで、「**名前はよく聞くようになったが、詳しく知らなかったので良い機会になった**」との感想を頂きました。

介護者のつどい

第5回の介護者のつどいでは、ダスキンヘルスレント東加古川ステーションより講師をお招きし、介護保険で利用されることの多い「福祉用具」について教えていただきました。「**レンタル商品**」「**購入商品**」「**住宅改修**」の3つのカテゴリー別に介護保険制度ご利用の流れをふまえて説明していただき、福祉用具を選ぶ「**介護状態・疾病や症状・住環境・体型や姿勢**」の4つのポイントがあることなどのレクチャーを受けました。手すりや歩行器などの実物も持ち込んで頂き、事例も見せていただけたので、参加者の方もイメージしやすかったようです。10月はリフレッシュバス旅行を企画しております。是非ご参加ください！

